

来年度の生徒会リーダーを選ぶ

来年度の生徒会リーダーを目指して立候補した6名の生徒が、立会演説会で自身の思いや決意を全校生徒に向けて真剣に語る姿を見て、頼もしさを感じました。

近年では、どの役職でも対立候補がなく、信任投票で決まることも珍しくありません。また、執行委員として生徒会本部に所属していなければ立候補しづらいような雰囲気生まれがちであったりもします。

しかし、そのようなことをはねのけて、今回の生徒会役員選挙では3人の生徒が生徒会長に立候補しました。他の役職に立候補した生徒も含め、来年度のリーダーを目指し、決意と覚悟をもって自ら名乗りを上げたその姿勢は本当に素晴らしいものです。

今年度の生徒会で取り組んでいる「学校生活の心得」の見直しをはじめ、自分たちの学校を自分たちの手で創り上げようとする様々な取組は、生徒会の「自治」に全てつながっていきます。この流れを次期リーダーたちもしっかりと引き継ぎつつ、新たな歴史を刻んでくれるものと思います。今から楽しみにしています。



選挙管理委員会のスムーズな進行 & 演説を真剣に聴く生徒



全校生徒に力強く訴えました！

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和4年12月1日

第22号

学級力向上プロジェクト & はがき新聞

6年前から取り組んでいる「学級力向上プロジェクト」と「はがき新聞」は、大形中の特色ある取組の代表ともいえるものです。11月29日（火）と30日（水）の2日間、この取組を進めるに当たって協力いただいている愛知教育大学の磯部征尊准教授と理想教育財団の役員の方々をお迎えして、学級力会議の授業を公開し、はがき新聞の活用について説明しました。これらに対して、磯部准教授と財団の方々から多くのアドバイスをいただきました。



リーダーチャートをもとに話し合う！

学級力向上プロジェクト

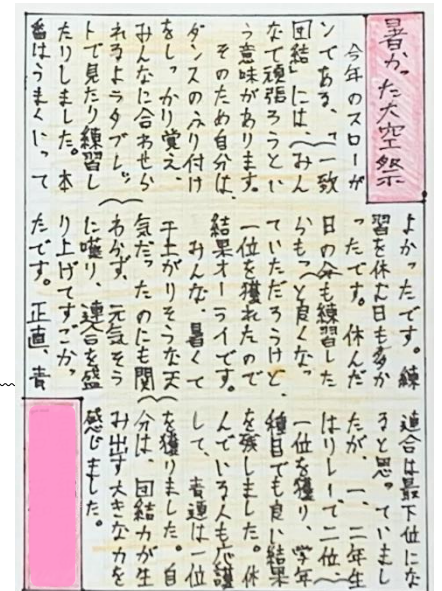
生徒自身による学級の分析をもとに、課題解決に向けて取組を自分たちで考え、実践する学級づくり・仲間づくりの活動

はがき新聞

はがきサイズの原稿用紙を用いて、行事などの活動後に自分や仲間の取組や自分の思いを記述し、お互いに交流する活動

現在、どの学級でも学級力会議が終わり、自分たちで決めた取組をスタートするタイミングだと思えます。自分たちの手で学級をよりよくしていくことは、学級での「自治」とも言えます。1年間の締めくくりを見据えながら、残りの数か月で学級力をさらに高めてほしいと思います。

はがき新聞で書ける文字数はわずかですが、そこに自分の思いや考えを記述することは、論理的な思考力や表現力の向上につながります。そして、この力は全教科の学力向上にもつながるものです。今後は、大形中に合ったよりよい活用の在り方を探り、活用の充実を図っていきたいと考えています。



自分の思いをぎゅっと凝縮！